

2025年2月2日
2月第一主日礼拝式／聖餐式



教会福音讃美歌232番 「われらはキリストのもの」

- 1 キリストは 私の罪を背負(せお)うために
ただひとり 十字架にいのちを献(ささ)げられた

* われらはキリストによって 愛のうちに建てられる
われらはキリストのもの 主はわれらのもの

- 2 賜物(たまもの)は 仕え合うため与えられる
キリストのうるわしい姿(すがた)に近づくため (*)

- 3 みことばは 救いの御手(みて)のわざを示(しめ)す
人々を 永遠のいのちへ みちびくため (*)

85 神の国と神の義

神の国と神の義を

まず求めなさい

そうすればみな与えられる

ハレル ハレルヤ

新聖歌434番 「語り告げばや」

- 1 語り告げばや 主なるイエスと
その御栄(みさか)えと その恵みを わがたましいを
満たすものは 他(た)になきことを さとりえたり
* 語り告げばや 世(よ)を去る日まで
語り告げばや イエスの愛を
- 2 語り告げばや 語るごとに
心満ちたり 楽しさ増(ま)す この救い主
知らぬ者に われ呼びかけて 証(あか)しせばや【*】
- 3 語り告げばや 見よ ちまたは
うえかわきたる 人に満てり こは げに旧(ふる)き
教えなれど 日々 新しき歌とぞなる 【*】 アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて
流させたまいし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん
救いの恵みを 喜びつつ アーメン

新聖歌315番 「主の御手に頼る日は」

- 1 主の御(み)手に頼る日は いかに喜ばしき
主の御(み)手に頼る日は 世(よ)にも幸いなり

* 頼れ頼れ とこしえの御手に
頼れ頼れ さらば恐れあらし

- 2 主の御(み)手に頼りつつ 進む道は楽し
主の御(み)手に頼りつつ 歩まば光あらん 【*】

- 3 主の御(み)手に頼るとき 死も恐るべきかは
主の御(み)手に頼るとき 平和 心にあり 【*】

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン